

専門研修プログラム名	近畿大学病院 精神科	専門研修プログラム
基幹施設名	近畿大学病院	
プログラム統括責任者	橋本 衛	

専門研修プログラムの概要	基幹研修施設である近畿大学医学部精神神経科では、自由闊達な気風とともに臨床現場の疑問を研究、教育に生かし、さらに診療にフィードバックすることを理念とし、最新の薬物療法と心理社会的アプローチによる多面的で統合的な診療を心がけている。精神科の幅広い領域における基本的な診療スキルと高い倫理性とバランス感覚を備えたところ豊かな精神科医の養成を目指す本プログラムの特色は、以下の通りである。基幹研修施設である近畿大学医学部精神神経科では、うつ病、双極性障害、神経症性障害、児童思春期精神障害、認知症・せん妄などの器質性精神障害を含めた精神疾患全般の診断・治療を行う。外来診療では、気分障害圏、神経症圏、認知症については豊富な症例とともに質の高い専門的な研修を経験できる。さらに、児童思春期精神障害については専門外来による診療を行っており、認知症に対しては、抗アミロイドβ抗体治療をはじめとする最新の医療を提供する専門外来がある。入院診療では、身体科に入院した患者に求められる精神科治療（コンサルテーション・リエゾン）を活発に行っており、救命救急センターにおける自殺企図者への対応や精神疾患合併妊婦への対応、緩和ケアにも積極的に関与している。本プログラムのもう一つの特色は、大阪府内の主要な精神科病院との緊密な連携により、幅広い精神科診療に対応した研修体制を整えていることである。さらに希望に応じて、精神保健福祉センターや保健所での研修、または子ども家庭センターや発達障害を対象とした乳幼児検診への参加、児童精神医学を専門に行っているクリニックでの診療、そして薬物依存についての多くの経験を得ることができる地域の精神科病院での研修等を行うことにより、さらに幅広い知識と経験を積むことが可能である。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	精神科専攻医研修マニュアルに従って専門知識を習得する。大学病院では、指導医による密接な指導を受けながら研修を行っていく。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	精神科専攻医研修マニュアルに従って、研修期間内に医科の領域の専門知識を幅広く学ぶ。1) 患者及び家族との面接、2) 疾患の概念と病態の理解、3) 診断と治療計画、4) 補助検査法、5) 薬物・身体療法、6) 精神療法、7) 心理社会的療法、精神科リハビリテーション、及び地域精神医療・保健・福祉、8) 精神科救急、9) リエゾン・コンサルテーション精神医学、10) 法と精神医学、11) 医の倫理、12) 安全管理・感染対策
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	医局勉強会やカンファレンスに参加し、また、学会での発表・討論を行う。地域の研究・研修会にも積極的に参加する。
	学問的姿勢	院内研究会や外部の学会・研究会などにて積極的に症例発表・討論する。診療において何事にも疑問を持ち、自ら疑問を探究する姿勢を身につける。

	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	研修期間を通じて、1) 患者関係の構築、2) チーム医療の実践、3) 安全管理、4) 症例プレゼンテーション技術、5) 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解、を到達目標とし、医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神症候学、精神科薬物療法、コンサルテーション・リエゾン、児童青年精神医学、老年精神医学といった精神科医特有のコンピテンシーの獲得を目指す。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	1年目：基幹病院または連携病院にて、指導医とともに統合失調症、気分障害、器質性精神障害の患者等を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。また、総合病院におけるリエゾン・コンサルテーション精神医学を経験する。器質性精神医学症例を通して、脳画像の読影方法、脳波の読影方法、腰椎穿刺の手技や所見の読み方を学ぶ。医局勉強会やカンファレンスに参加し、また、学会での発表・討論を行う。2年目：連携病院または基幹病院にて、指導医の指導を受けつつ、自立して、面接の仕方を深め、診断と治療計画の能力を充実させ、薬物療法の技法を向上させる。また、精神科救急に従事して対応の仕方を学び、また、種々の依存症患者の診断・治療を経験する。院内研究会や学会での発表・討論する。3年目：指導医から自立して診療できるようにする。連携病院はより幅広い選択肢の中から専攻医の志向を考慮して選択する。心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学び、上級医の指導の下に精神疾患に対する診断と治療計画および薬物療法の診療能力をさらに充実させる。児童・思春期精神障害およびアルコール関連疾患、薬物依存症例の診断・治療を経験する。外部の学会・研究会などにて積極的に症例発表する。
	研修施設群と研修プログラム	本プログラムの特色は、地域の主要な精神科病院との緊密な連携により、幅広い精神科診療に対応した研修体制を整えていることである。
	地域医療について	希望に応じて、精神保健福祉センターや保健所での研修、または子ども家庭センターや発達障害を対象とした乳幼児検診への参加、地域の精神科病院での研修等を行うことにより、地域医療について幅広い知識と経験を積むことが可能である。
専門研修の評価	3 ヶ月ごとに、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研究方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。研修目標の到達度を、当該研修施設の指導責任者と選考医がそれぞれ 6 ヶ月ごとに評価し、フィードバックする。1 年後に 1 年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の到達度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。また、その結果を統括責任者に提出する。その際の選考医の研修実績及び評価には研修記録簿/システムを用いる。	
修了判定	「研修記録簿」に研修実績を記録し、一定の経験を積むごとに専攻医自身が形成的評価をおこない記録する。少なくとも年に 1 回は形成的評価により、指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的自己評価をおこなうこと。研修を修了しようとする年度末には総括的評価により評価が行われる。	

専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	個々の専攻医の研修状況について管理・改善を行う。
	専攻医の就業環境	各施設の労働管理基準に準拠する。
	専門研修プログラムの改善	基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について協議し、継続的な改良を実施する。
	専攻医の採用と修了	1) 日本国の医師免許を有すること、2) 初期研修を修了していること、という条件を満たすものにつき、研修施設群で、専攻医として受け入れるかどうかを審議し、認定する。修了基準は、精神神経学会専門研修プログラム整備基準に従う。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	専門医研修委員会にて、個別に休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修について検討を行う。6ヶ月までの中断であれば、研修期間の延長はしない。他のプログラムへ移動しなければならない特別な事情が生じた場合は、精神科専門医制度委員会に申し出る。
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	研修プログラム統括責任者、研修指導責任者、研修指導医、専攻医全てが、サイトビジットに対応する。
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、 役職を記述してください。	橋本衛・近畿大学病院 精神神経科・主任教授；永野龍司・医療法人爽神堂七山病院・院長；木下清二郎・医療法人養心会 国分病院・診療部長；和気浩三・医療法人和気会 新生会病院・院長；上田敏朗・医療法人六三会 大阪さやま病院・副院長；高瀬勝教・医療法人桐葉会 木島病院・院長；篠崎和弘・浅香山病院・研修センター長；山内孝之・医療法人聖和錦秀会 阪和いずみ病院・副院長；柳雅也・近畿大学病院精神神経科・准教授；岩田和彦・大阪精神医療センター・院長	
Subspecialty領域との連続性	精神科サブスペシャリティは、基本的には精神科専門研修を受け、精神科領域専門医となった者がその上に立って、より高度の専門性を獲得することを目指すものとする。	

ローテーションスケジュール

パターン	1年目	2年目		3年目
A	基幹病院 (近大病院)	基幹病院 (近大病院)		精神科病院 (精神科病院一覧より施設選択)
B	基幹病院 (近大病院)	精神科病院 (精神科病院一覧より施設選択)		精神科病院 (精神科病院一覧より施設選択)
C	精神科病院 (精神科病院一覧より施設選択)	基幹病院 (近大病院)		精神科病院 (精神科病院一覧より施設選択)
D	精神科病院 (精神科病院一覧より施設選択)	基幹病院 (近大病院)	精神科病院 (精神科病院一覧より施設選択)	精神科病院 (精神科病院一覧より施設選択)
E	福岡大学病院	基幹病院 (近大病院)		精神科病院 (精神科病院一覧より施設選択)

パターンA、Bは、典型的パターンを示している。1年目に基幹病院である近畿大学病院で研修し、精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3年目には、近畿大学病院または精神科病院を各1年ずつローテートし、精神科救急、依存症治療、認知症症例、児童症例などを幅広く経験する。

パターンC、Dは、連携施設でスタートするスケジュールである。精神科病院で勤務中の医師が専門医の取得を希望した際にこのパターンでローテーションを行う。2年目の半年間～1年間を基幹病院で研修し、リエゾン精神医学を中心に、総合病院での精神医学を身につける。それ以外は、基本的に連携施設である精神科病院で研修し、精神科救急、依存症治療、認知症症例、児童症例などを幅広く経験する。

パターンEは福岡大学病院での研修から開始し、2年目に基幹病院である近畿大学病院をローテートし、精神科医としての基本的な知識を身につける。

3年間のローテート順については、本人の希望に応じて柔軟な対応が可能であり、どのローテートを選択したとしても、精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、バイオマーカー検査・心理検査などの検査手技、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術が深められるように配慮される。

【研修施設一覧】

基幹施設	近畿大学病院
連携施設	総合病院: 福岡大学病院 精神科病院: 大阪さやま病院、国分病院、七山病院、木島病院、新生会病院、阪和いずみ病院、浅香山病院、大阪精神医療センター

近畿大学病院専門研修プログラム

週間・年間計画（基幹・連携）

いずれの施設においても、就業時間が週 40 時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

①近畿大学病院

週間スケジュール

曜日	時間	内容
月曜日	9：00～10：00	リエゾン診療
	10：00～12：00	リエゾンカンファレンス
	13：00～16：00	リエゾン診療
	16：00～17：30	症例検討会・医局会
	18：00～	心理検査勉強会
火曜日	9：00～12：00	外来予診・入院診療
	13：00～17：15	入院診療・リエゾン診療
水曜日	9：00～12：00	外来予診・入院診療
	13：00～17：15	入院診療・リエゾン診療
木曜日	9：00～12：00	外来予診・入院診療
	13：00～17：15	入院診療・リエゾン診療
金曜日	9：00～12：00	外来予診・入院診療
	13：00～17：15	入院診療・リエゾン診療
土曜日	9：00～11：00	リエゾン診療
	11：00～12：45	認知症講義・脳波勉強会

年間スケジュール

月	内容
4 月	オリエンテーション SR 1 研修開始 SR 2 ・ 3 前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告提出
5 月	SR 3 研修報告会
6 月	日本精神神経学会総会参加 日本老年精神医学会総会参加（任意）
7 月	近畿地区精神科合同卒後研修講座参加
8 月	近畿精神神経学会参加 日本精神科診断学会総会参加（任意）
9 月	日本生物学的精神医学会総会参加（任意）
10 月	教室研究会参加 日本児童青年精神医学会総会参加（任意） 日本臨床精神神経薬理学会総会参加（任意）
11 月	日本認知症学会総会参加（任意） 日本総合病院精神医学会総会参加（任意）
12 月	研修プログラム管理委員会開催 日本高次脳機能障害学会総会参加（任意）
1 月	
2 月	近畿精神神経学会参加
3 月	SR 1 ・ 2 ・ 3 研修報告会 研修プログラム評価報告書の作成

②大阪さやま病院

週間スケジュール

曜日	時間	内容
月曜日	9：00～12：00	指導医陪席。外来予診
	13：00～17：00	措置入院患者等診察陪席。入退院症例検討会。
火曜日	9：00～12：00	指導医陪席。外来予診
	13：00～17：00	病棟診察
水曜日	9：00～12：00	認知症専門外来陪席。外来予診
	13：00～17：00	措置入院患者等診察陪席
木曜日	9：00～12：00	認知症専門外来陪席。外来予診
	13：00～17：00	病棟症例検討会
金曜日	9：00～12：00	入院患者作業療法、もしくは外来デイケア参加
	13：00～17：00	病棟診察

年間スケジュール

月	内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会総会参加（任意） 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	
8月	
9月	日本認知症予防学会参加（任意）
10月	日本認知症学会総会参加（任意）
11月	日本認知症疾患医療センター研修会、協議会参加
12月	
1月	
2月	精神科病院協会・診療所協会合同研修会参加
3月	認知症疾患医療センター協議会参加

③木島病院

週間スケジュール

時間	月	火	水	木	金
9：00～12：00	病棟業務	外来業務	病棟業務	外来業務	病棟業務
12：00～13：00	医局会議				
13：00～17：30	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務

年間スケジュール

月	内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本精神科病院協会・精神医学会参加
11月	
12月	
1月	
2月	近畿精神医学会参加
3月	研修プログラム評価報告書の作成

④国分病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
始業前	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼
午前	病棟診察	外来診察陪席	病棟診察	外来診察陪席	病棟診察
午後	作業療法参加	デイケア参加	病棟診察 症例検討会	病棟診察	デイケア参加

年間スケジュール

月	内容
4月	
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

⑤新生会病院

週間スケジュール

曜日	時間	内容
月曜日	9：00～12：00 13：00～17：00	外来診療（予診・陪席） 病棟診察
火曜日	9：00～12：00 13：00～17：00	家族プログラム参加及び外来診察（予診・陪席） 集団療法参加（入院患者）
水曜日	9：00～12：00 13：00～17：00	外来デイケア参加 訪問看護同行
木曜日	9：00～12：00 13：00～17：00	集団療法参加（外来患者）・行動制限最小化委員会（第2木曜） 病棟診察・医局会
金曜日	9：00～12：00 13：00～17：00	外来診療（予診・陪席） 集団療法参加（入院患者）・症例検討会・抄読会（17時以降）
土曜日		

年間スケジュール

月	内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	日本アルコール関連問題学会参加
10月	
11月	
12月	関西アルコール関連問題学会参加
1月	
2月	
3月	

⑥七山病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8：45～12：00	病棟	病棟	外来	病棟	外来
13：00～14：00	病棟	医局会	病棟	入院カンファ レンス	入院カンファ レンス
14：00～17：45	病棟	勉強会	病棟	病棟	病棟

年間スケジュール

月	内容
4月	
5月	院内講演会
6月	日本精神神経学会学術総会参加、日本老年医学会参加（任意）
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	院内講演会
9月	日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	
11月	日本精神科医学会学術大会参加、地方精神神経学会参加・演 題発表、院内講演会
12月	
1月	
2月	院内講演会
3月	日本統合失調症学会参加（任意）

⑦阪和いずみ病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
朝			症例カンファレンス		
午前	依存症外来	認知行動療法 見学	依存症外来	病棟診察見学	依存症外来
午後	院内ミーティング参加	講義	各種心理検査 SST	多職種面接参加	
夕方		第2火：医局 会		第4木：医局 会	

年間スケジュール

月	内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加 どちらかを選択
7月	
8月	夏季休暇
9月	ヤングカンファレンス参加（若手依存症治療者勉強会）
10月	研修中間評価 アルコール依存症臨床医等研修参加（希望者） アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会
11月	グループフォーラム（発表）
12月	関西アルコール関連問題学会（ポスター発表）
1月	
2月	ヤングカンファレンス参加（若手依存症治療者勉強会）
3月	研修総括評価 研修プログラム評価報告書の作成

⑧福岡大学病院
週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30~9:30	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス
9:30~12:00	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療
	チーム ミーティング	閉鎖病棟 カンファレンス	デイケア	デイケア	チーム ミーティング
13:00~17:30	病棟回診	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟 コミュニティ ミーティング
	症例検討会	リエゾン回診			
	外来 カンファレンス				
	リエゾン カンファレンス				
	医局会				
	抄読会				
デイケア or 病棟診療	デイケア or 病棟診療	病棟 カンファレンス			

※就業時間が週 40 時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション
5 月	福岡精神科集談会参加
6 月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加(任意)
7 月	日本うつ病学会参加(任意)
8 月	
9 月	福岡精神科集談会参加 日本臨床精神神経薬理学会学術集会(任意) 日本自殺予防学会(任意)
10 月	
11 月	
12 月	九州精神神経学会参加・発表
1 月	医局年始研究会参加
2 月	福岡精神科集談会参加
3 月	医局年度末研究会発表 日本社会精神医学会(任意)

⑨大阪精神医療センター

※週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
9:00 ～ 12:00	・ 病棟業務 ・ 児童思春期病棟カンファレンス	・ m-ECT ・ 外来初診インテーク	・ 病棟業務 ・ 医療観察法病棟カンファレンス	・ 外来初診インテーク	・ m-ECT ・ スーパー救急病棟ケースカンファレンス	・ 当直業務／外部の研究会・研修等（適宜）
13:00 ～ 17:00	・ スーパー救急病棟ケースカンファレンス	・ 病棟業務	・ 病棟業務	・ 病棟業務	・ 救急当番	
17:00 ～	・ 医局会（隔週）		・ 医局ケースカンファレンス(クロザピン、m-ECT)			

※就業時間が週 40 時間を超える場合は、「労働基準法第 36 条に基づく労使協定（36 協定）」に従い、専攻医との合意の上で実施される。

※年間スケジュール

4 月	オリエンテーション 新規採用者研修
5 月	包括的暴力防止プログラム（CVPPP）研修 院内第 1 回医療安全研修
6 月	日本精神神経学会学術集会参加 日本司法精神医学会参加（任意） 日本老年精神医学会（任意）
7 月	近畿精神神経学会参加（任意）
8 月	院内トピックス研修（内容は各年度当初に決定） 日本うつ病学会参加（任意）
9 月	臨床研究基礎セミナー 臨床研修評価面談（中間）
10 月	臨床研究基礎セミナー 日本精神科救急学会（任意） 日本児童青年精神医学会（任意）
11 月	日本認知症学会（任意） SST 普及協会学術集会（任意）
12 月	日本精神障害者リハビリテーション学会（任意）
1 月	院内トピックス研修
2 月	近畿精神神経学会参加 院内研究交流発表会（2 日間）
3 月	日本統合失調症学会（任意） 日本社会精神医学会（任意） 臨床研修評価面談（年度末）
その他	精神科関連の学会、研修会等に積極的に参加する。院内において適宜クルーズを行っている。

⑩浅香山病院

週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	電気けいれん 療法研修	デイケア		電気けいれん 療法研修		勉強会（精神療法、 脳波・画像判読、 器質性精神障害）
	病棟業務、週 1 回外来業務（認知症疾患医療センター）					症例検討 カンファレンス、 医局会（隔週）
午後	病棟業務（リエゾン・コンサルテーション含）					
	症例検討 カンファレンス、 医局会（隔週）					

※平日（月～金）の間に週 1 日の研修日有

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション 1 年次専攻医研修開始 2 年次、3 年次専攻医研修報告書提出 指導医研修実績報告提出
5 月	
6 月	精神神経学会学術総会参加（必須） 日本老年精神医学会参加（任意）
7 月	近畿精神神経学会参加（必須） 日本うつ病学会学術総会参加（任意） 浅香山病院精神科研究会参加（必須）
8 月	
9 月	日本児童青年精神医学会総会参加（任意）
10 月	日本精神科救急学会学術総会参加（任意） 日本認知症学会学術集会参加（任意）
11 月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意）
12 月	
1 月	
2 月	近畿精神神経学会参加（必須） 日本不安症学会学術大会参加（任意） 浅香山病院精神科研究会参加（必須）
3 月	日本統合失調症学会学術総会参加（任意） 研修プログラム評価報告書作成 1 年次、2 年次、3 年次専攻医研修報告書